

輝き



令和7年度 第11号

<令和8年3月2日発行>

江戸川区立南葛西中学校

校長 日野 志磨子

1年を振り返って

3月に入り今年度の終わりを迎えます。まずは南葛西中を支えて下さった地域のみなさま、保護者のみなさまに感謝いたします。

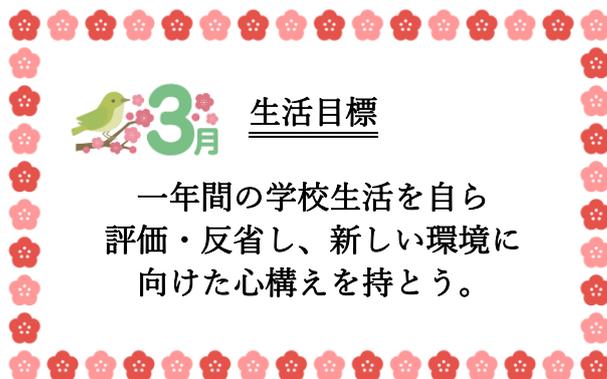
生徒たちは今年度最後の定期考査を終えほっとした中、次年度に向けて心の準備をしています。特に3年生は今日の都立合格発表で自分の進む学校が決定する生徒が多くいます。緊張感をもちながら自分の合格、仲間の合格を願っている様子が見られます。

今年度、学校が落ち着いている中で、特に「学力向上」に向けて学校全体で動いた年でした。これからの社会の担い手となる生徒たちにまずは学校として「確かな学力」をつけるために教員たちの日々の研修、国語の「よむYOMUワークシート」数学の「単元別検定」、ミライシードを活用した「江戸川っ子 studyweek」、放課後補習教室等に力を入れた年でした。授業中「自ら進んで学習に取り組む姿勢」がより一層高まったと感じています。

しかし、学力はすぐに「目に見える結果」が出ないこともあります。思うように結果がでない時間は苦しい時期もあります。志望校の入試に向けて努力してきたにも関わらず結果が出なかった時、しかし、そうした苦しい時間を通じて積み重ねてきた努力にも必ず意味があるはずです。

樹木は大地にしっかり根を張ってこそ、幹や枝を伸ばしていけます。根が吸い上げた水分や養分が幹や枝葉に送られることで、花が咲き、実を結ぶことになるのでしょうか。そう考え、誰の目にも触れない土の中に根を張るように、日々地道な努力を積み重ねることが生徒たちの学力をつけることにつながっていくことを信じて、次年度も今年度の取組を継続していきたいと考えています。

日	曜	3月行事予定
1	日	
2	月	朝礼（生徒朝礼）、都立発表(3)
3	火	薬物防止教室(3)
4	水	
5	木	性教育の授業(3)
6	金	卒業遠足(3)、英語スピーキングテスト(1)(2)
7	土	
8	日	
9	月	避難訓練、江戸川っ子Studyweek始
10	火	都立二次入試
11	水	
12	木	
13	金	都立二次発表
14	土	
15	日	江戸川っ子Studyweek終
16	月	
17	火	卒業式予行
18	水	卒業式準備
19	木	卒業式、給食なし
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	球技大会(2)、保護者会(1)(2)
24	火	球技大会(1)、大掃除、給食最終日
25	水	修了式、離任式
26	木	春季休業日始
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	




3月 生活目標

 一年間の学校生活を自ら
 評価・反省し、新しい環境に
 に向けた心構えを持とう。

～ 学習発表会 展示発表・舞台発表 ～

令和7年度作品展が2月13日、14日に行われました。また、13日6校時の舞台発表では、ウインドオーケストラ部と弁論発表会学校代表2年4組、矢田部 夏未さんの発表を行いました。ウインドオーケストラ部の演奏では、ちょっとした舞台の演出とともに「おジャ魔女どれみ」「ようかい体操第一」「銀河鉄道スリーナイン」等のアニメの主題歌を各楽器のソロ演奏を挟みつつ聴きました。アンコールでは、「ともに」の曲に合わせて3学年の教員一同で踊る出る場面もあり、皆、とても楽しんで鑑賞していました。

弁論発表では、自身の家庭での経験を媒介に「ヤングケアラー」について想像したことを自らの言葉で全校生徒を前にして堂々と伝える姿は、とても頼もしかったです。

展示部門は、1～3学年ごとの発表と国語、英語、家庭、技術、美術等の教科による展示及び家庭科部、美術部等の部活動による展示がありました。どの教科、部活動もこの日を目指し、準備を積み重ねてきたことがうかがえる力作が揃っていました。

最後に、12月から当日まで、鑑賞のしおりや舞台運営、物品の運搬等と実行委員の生徒たちが陰日向に動いてくれたことも今年度の作品展を成功におさめられた大きな要因であることをここに記しておきます。



文化行事委員 冬木 嘉人

～ 校外学習 (2年) ～

2月6日(金)、天候にも恵まれ、都内巡り(台東区、港区、江東区、墨田区方面)を行いました。「東京」を学ぶにあたり、東京の「伝統文化」という学びの大テーマを設け、そこから各班で何を学ぶのかをさらに掘り下げ、「産業・防災・くらし・ことば・祭り・建物」という小テーマに沿って事前学習を進めました。日頃私たちが暮らす「現在」の東京はどのような歴史を経てきたのか、自分達の東京は今後どのようなようになっていくのだろう等、事前学習で出し合った様々なイメージや考えとどのくらい合致しているのかということをも博物館や郷土資料館を巡り、検証しました。事前予想とほぼ同じ答えを確認できた班もあれば異なった答えにたどり着いた班、思いがけない発見に出会った班もあったかもしれません。現在進めている事後学習(発表)で各班の検証結果を聞くことが楽しみです。

また、今回の都内巡りには違う目的もありました。来年度の修学旅行に向けて、事前に班員同士が交通手段や時間について知恵を出し合って作成した行動計画に従い「班行動を行う」経験を積むこと、また、集会の事前準備や係会、ルールづくりや学級討議の運営を実行委員が中心となって行い、生徒たちが主体的に行事をつくるということでした。生徒達が主体的に考え、その考えを具体化していくという経験ができたことは最高の学習だったと思います。来年度も思い出いっぱいの1年にして欲しいです。



校外学習担当
藤吉・齋藤・近藤